

令和7年度 カキのノロウイルス（NoV） に係る平常時の水準調査（結果報告）

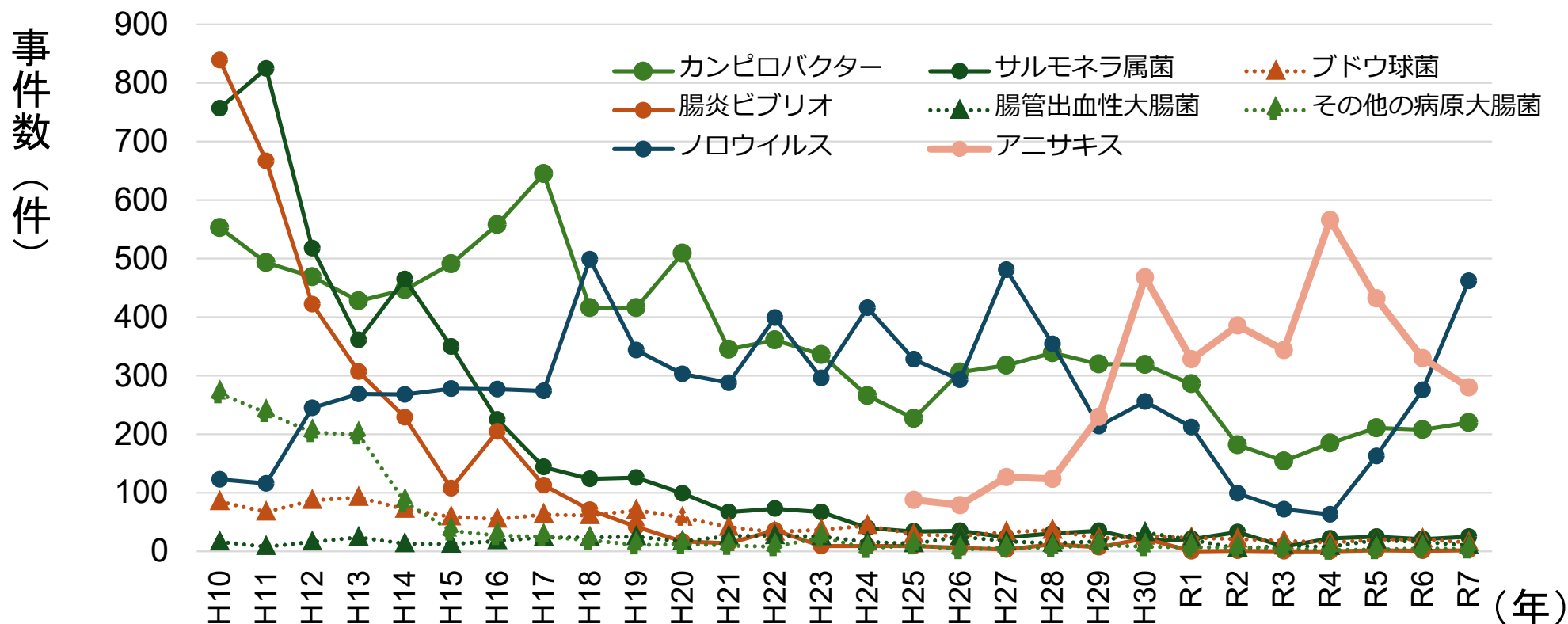
農林水産省 消費・安全局 食品安全政策課

令和8年8月27日

背景 1 : ノロウイルス食中毒発生状況

- R7年は食中毒届出数が1,172件、患者数は24,727人
原因物質別では、届出数、患者数ともにノロウイルスが最多

＜食中毒の原因物質別の発生件数＞



厚生労働省 食中毒統計を基に農林水産省作成

背景 2 : ノロウイルス食中毒発生状況

R7年のノロウイルスを原因とする食中毒発生状況

○令和7年病因物質別 食中毒発生状況として

ノロウイルス食中毒 事件数 462件

ノロウイルス食中毒 患者数 18,566人

※令和7年のノロウイルス食中毒発生状況において、特筆すべき事項として、令和7年1月に弁当を喫食した患者数769人の事例、令和7年2月に弁当を喫食した患者数2,307人の大規模事例が発生した。

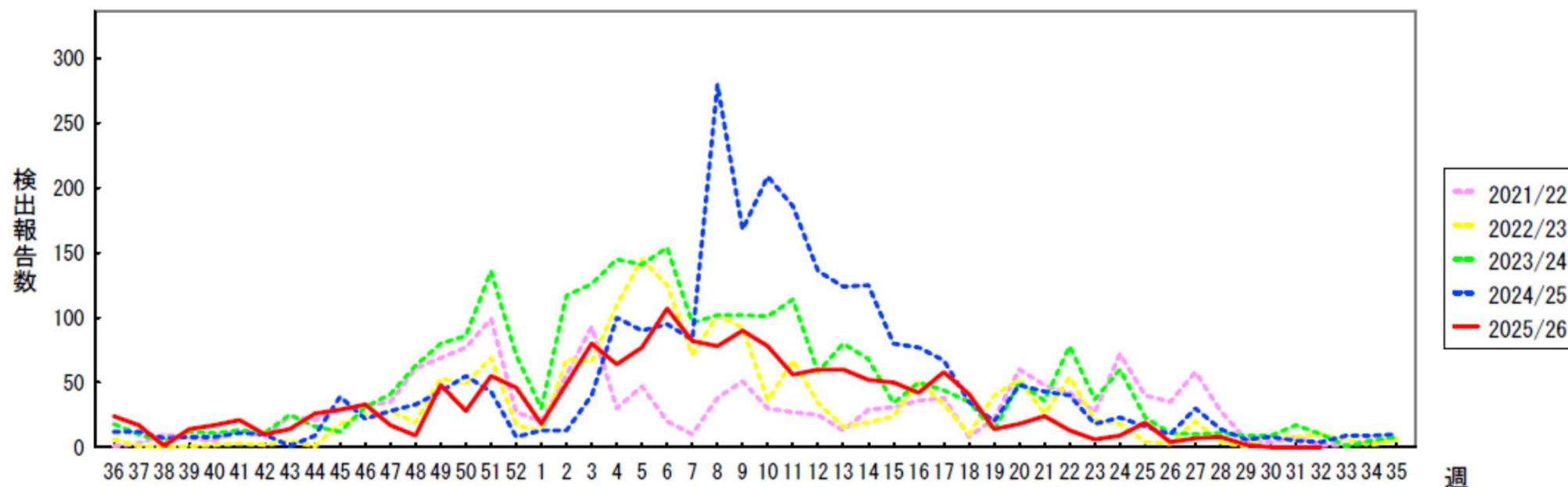
背景 3 : ノロウイルス検出情報

2021/22～2025/26 シーズン

ノロウイルス及びサポウイルス検出報告数

病原微生物検出情報 2026年8月6日時点

IASR
Infectious Agents Surveillance and Report



国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所
IASR 病原微生物検出情報 2026年8月6日時点データより引用。

1 海域におけるNoVの保有状況調査

1-1. 平常時の水準調査の背景・目的

- 令和元年～令和3年に、国内のカキのノロウイルス（NoV）保有状況の把握及び各地における衛生管理方策の検討への活用を目的に全国調査を実施
- 新型コロナウイルス感染症の流行と調査期間が重なったため、現状を捉えられていない可能性がある。
- ノロウイルス（感染性胃腸炎）の流行状況は年ごとに変動がみられる。・・・そこで、

令和7年度から2カ年の全国調査を実施

- 海外において二枚貝によるA型肝炎ウイルス（HAV）感染事例
- 国内のカキのHAV保有状況に係る全国的なデータの不足

令和7年度のNoV全国調査においては、HAVも併せて調査を実施

1-2. NoV保有状況調査の概要

- 採取期間：R7年10月からR8年3月（R7年度）
- 実施地域：マギキ生産道府県 12道府県
- 海域調査：24漁場
- 事業受託者（実施者）：一般社団法人 日本海事検定協会

1-3. 平常時の水準調査 調査設計

- 採材期間：2025年11月～2026年2月
- 採材頻度：原則として月1回
- 実施地域：NoV 24漁場、HAV 21漁場
- 検査対象：カキ（浄化前）
- 検査項目・方法：

対象	検査項目	1検体当たりの採取量	検体数	検査方法
カキ	ノロウイルス (NoV)	10個	417検体	【定量法】ISO 15216-1:2017 準拠（以下、「ISO法」）
	A型肝炎ウイルス (HAV)	10個	385検体※	ISO法

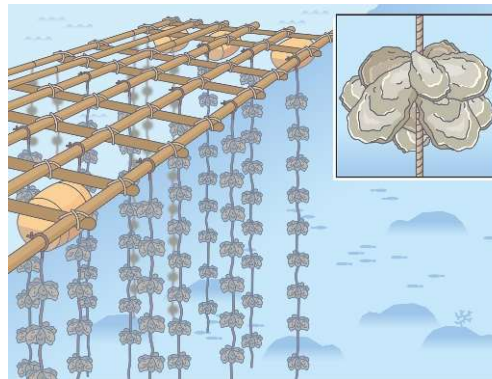
※HAVの検査分について、検体送付が可能な漁場から提供された検体数を反映

1-4. NoV保有状況調査の目的

- ✓ 平常時におけるカキのNoV保有状況を、より少ない量でも検出可能な高感度な検査法（ISO法定量法）を用いて把握する
- ✓ その結果を踏まえ、各産地における衛生管理方策の必要性の検討・効果検証に繋げる

1-5. NoV保有状況調査の方法

- [検体]
- ・採取場所：養殖棚（浄化処理がされていないカキ）
 - ・採取頻度：原則 月に1回（11月～2月末）
 - ・1検体当たりの採取量：10個のカキ中腸腺を1検体とする



- [検査法] ISO 15216-1に沿った検査法（ISO法 定量法）
を用いて2種類の遺伝子群（GI・GII）を検査

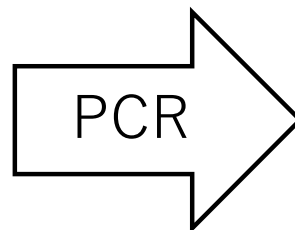
1-6. 今回の調査（定量検査）

- 定量値の求め方

- ISO15216-1（定量法）を実施
- 1検体、1遺伝子群当たり、リアルタイムPCRを2ずつ実施し、得られた数値の平均値を当該検体の定量値とした。
- 定量値の単位は中腸腺1 g当たりのNoVゲノムコピー数（cpg）とし、遺伝子型GI及びGIIの各NoVの定量値を算出



×10個を 1 検体



〇〇 cpg

1-7. ノロウイルス定量判定の結果①G I（海域個別）

農林水産省
消費・安全局

- ✓ 24海域について、11月～2月に採取したカキ検体についてISO法定量法で検査を実施した結果：平均ノロウイルス量（cpg）を記載

G I	R7年度			
	11月	12月	1月	2月
①	ND	ND	2	7
②	ND	ND	ND	ND
③	ND	ND	ND	ND
④	1	ND	ND	ND
⑤	—	24	—	99
⑥	ND	—	ND	—
⑦	ND	ND	ND	—
⑧	—	ND	—	3
⑨	ND	ND	ND	ND
⑩	ND	ND	ND	ND
⑪	ND	ND	ND	ND
⑫	ND	ND	ND	ND
⑬	ND	1	ND	ND
⑭	—	6	ND	ND
⑮	ND	ND	1	ND

G I	R7年度			
	11月	12月	1月	2月
⑯	1	2	30	3
⑰	ND	ND	ND	3
⑱	ND	3	42	ND
⑲	—	ND	ND	ND
⑳	ND	ND	—	ND
㉑	ND	—	ND	ND
㉒	ND	ND	ND	—
㉓	ND	ND	ND	ND
㉔	—	ND	ND	ND

・ G I 定量値は
シーズンを
通じてあまり
検出されず

※小数点以下四捨五入
※(—)カキ検体採取なし
※(ND) 不検出

1-7. ノロウイルス定量判定の結果②GⅡ（海域個別）

農林水産省
消費・安全局

- ✓ 24海域について、11月～2月に採取したカキ検体についてISO法定量法で検査を実施した結果：平均ノロウイルス量（cpg）を記載

GⅡ	R7年度			
	11月	12月	1月	2月
①	10	19	ND	ND
②	ND	130	60	68
③	6	ND	35	11
④	718	44	54	96
⑤	—	5171	—	7154
⑥	ND	—	420	—
⑦	ND	ND	192	—
⑧	—	43	—	743
⑨	ND	59	165	307
⑩	ND	ND	370	315
⑪	ND	88	128	82
⑫	ND	97	62	298
⑬	ND	65	570	138
⑭	—	28	22	16
⑮	ND	57	186	89

GⅡ	R7年度			
	11月	12月	1月	2月
⑯	321	388	1200	1675
⑰	44	48	129	350
⑱	16	20	60	89
⑲	ND	26	138	82
⑳	ND	22	—	15
㉑	ND	—	18	70
㉒	ND	ND	ND	—
㉓	ND	ND	23	ND
㉔	—	81	ND	30

- ・ GⅡ 定量値は1月、2月に高値の傾向
- ・ 24海域の定量値にはバラツキあり

※小数点以下四捨五入

※(—)カキ検体採取なし

※(ND) 不検出

1-7. ノロウイルス定量判定の結果③G I +G II（海域個別）

農林水産省
消費・安全局

- ✓ 24海域について、11月～2月に採取したカキ検体についてISO法定量法で検査を実施した結果：平均ノロウイルス量（cpg）を記載

G I G II	R7年度			
	11月	12月	1月	2月
①	10	19	2	4
②	ND	131	60	68
③	6	ND	35	11
④	719	45	54	96
⑤	—	5195	—	7552
⑥	ND	—	420	—
⑦	ND	ND	192	—
⑧	—	43	—	746
⑨	ND	59	165	307
⑩	ND	ND	370	315
⑪	ND	88	128	82
⑫	ND	97	62	298
⑬	ND	66	570	137
⑭	—	34	22	32
⑮	ND	57	187	89

G I G II	R7年度			
	11月	12月	1月	2月
⑯	321	388	1230	1678
⑰	44	48	129	354
⑱	16	23	102	89
⑲	—	27	138	82
⑳	ND	22	—	15
㉑	ND	—	18	70
㉒	ND	ND	ND	—
㉓	ND	ND	23	ND
㉔	—	81	ND	30

- ・ ノロウイルス
定量値は
1月、2月に
高値の傾向

※小数点以下四捨五入
※(—)カキ検体採取なし
※(ND) 不検出

1-7. ノロウイルス定量判定の結果 全国平均

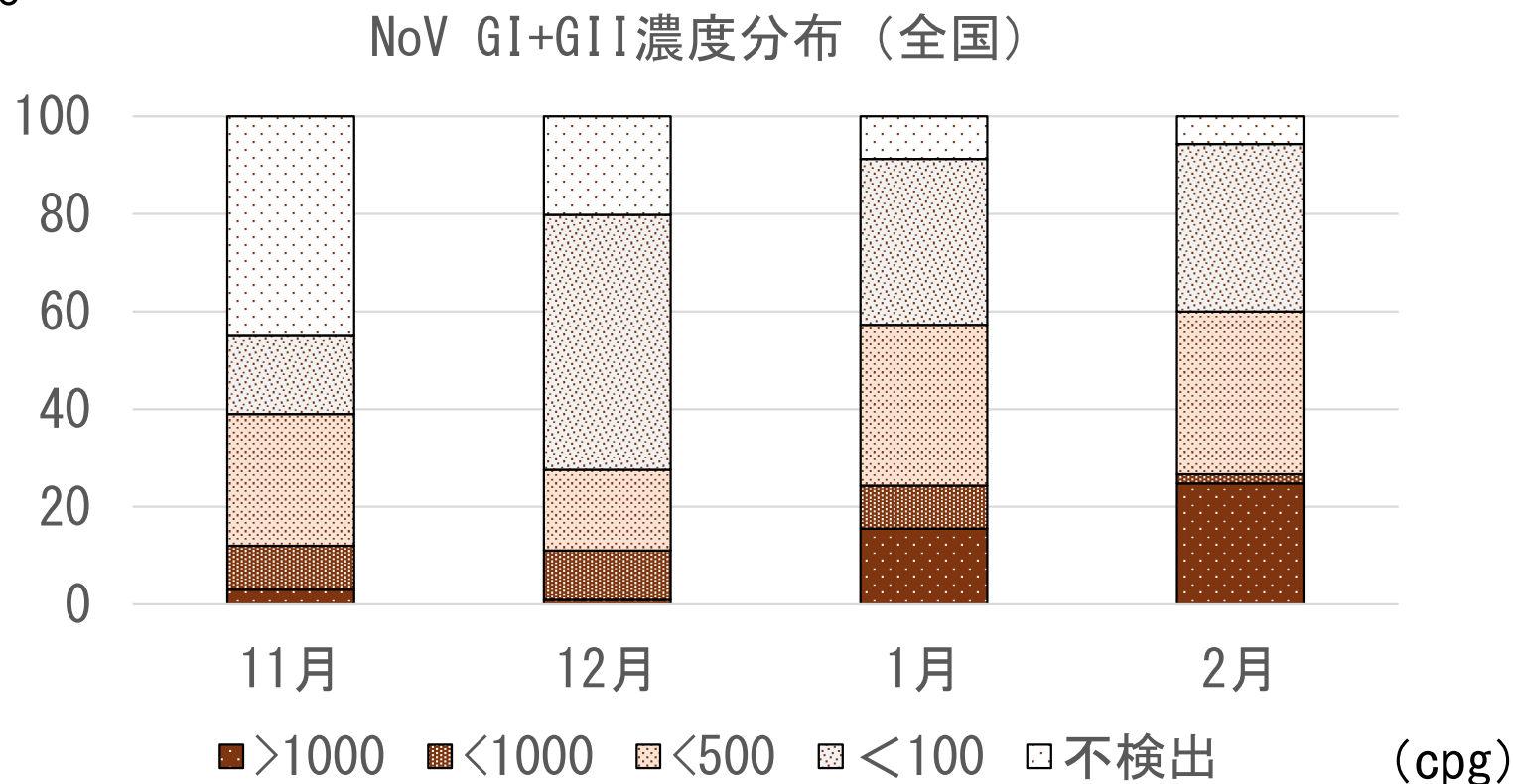
R7年度事業に供した11月～2月末までの全てのカキ検体のノロウイルス量（GI+GII）全国平均値及び中央値（cpg）は以下のとおり

月	調査期間平均
全国平均 (cpg)	322
全国中央値 (cpg)	86

※水準調査参加道府県の養殖かき生産量の按分に応じた検体数を反映
今般の事業に試料として供した417検体全ての平均及び中央値として計算

1-7. ノロウイルス定量判定の結果 濃度分布

- R7年度の調査において、全体として1月、2月に定量値は高値の傾向
- カキ中に蓄積されたノロウイルスの大部分は遺伝子型GⅡであった。



月ごとの総検体数を100%としたNoVの定量値の保有量分布内訳

1-8. HAV定量判定の結果（海域個別）

✓ISO法定量法でHAV保有状況調査を実施



✓全国調査の結果として、
検査に供した検体全て（385 / 385）検体
でHAVは陰性であった。

令和 8 年度調査事業の実施予定（案）

- 令和 7 年度に引き続き、2か年の計画で実施予定としていた、令和 8 年度力キ中のNoVの平常時の水準調査を実施（資料 3 ご参照）
- 令和 7 年度力キ中のNoVの平常時の水準調査で得られたNoV陽性試料についてNoV遺伝子型の網羅解析等を実施